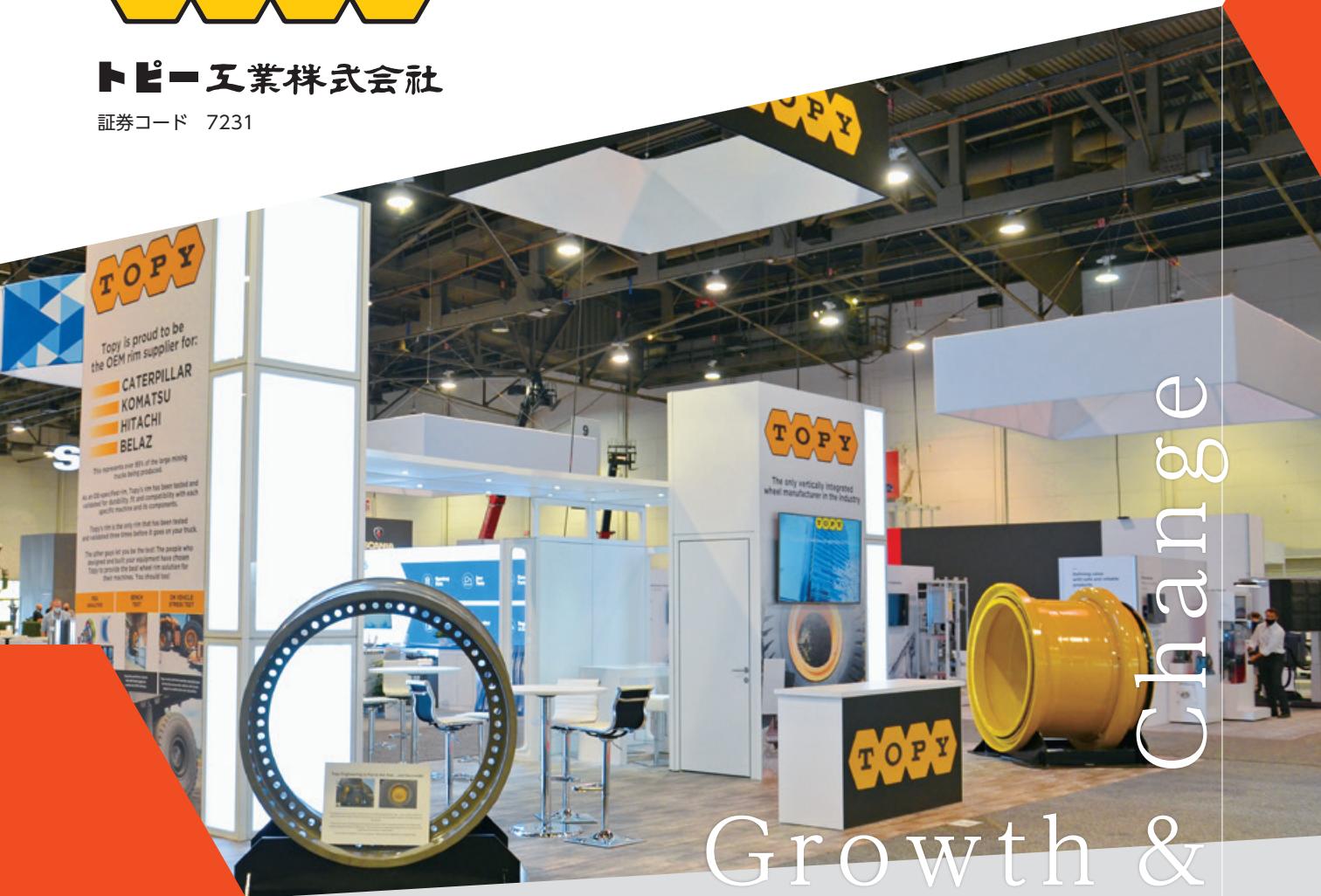




トピー工業株式会社

証券コード 7231



Change

Growth &

第128期 株主の皆様へ

2021年4月1日から2022年3月31日まで

新中期経営計画“TOPY Active & Challenge 2025”の下、 持続可能な社会への貢献と企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第128期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。
当社グループは、2019年度から2021年度を実行期間とする中期経営計画“Growth & Change 2021”（G&C 2021）を実行してまいりましたが、実行期間中に新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済活動の制限や自粛、鉄スクラップ価格や石炭価格の急騰、半導体等の供給不足による自動車の大幅な生産変動が生じるなど、当初の想定を大きく上回る経営環境の変化の影響を受け、残念ながら、売上高・利益等の定量的目標は未達となりました。しかしながら、重点テーマに掲げた、収益力向上、グループシナジーの発現、戦略製品の拡充、イノベーションへの挑戦、さらなる企業基盤の強化等については、状況に応じて取り組みを進め、今後の成長に向けた事業基盤の構築は着実に進展しました。

当期の業績につきましては、原材料やエネルギーの価格上昇分を製品価格に転嫁したことや、建設機械用足回り部品および鉱山機械用超大型ホイールの販売数量増加等により、売上高、営業利益ともに前期より改善しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比で減益となりました。

第129期より、当社グループは新中期経営計画“TOPY Active & Challenge 2025”をスタートしました。株主の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

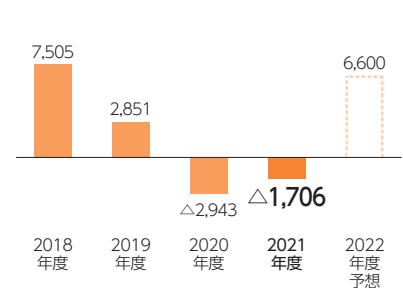
2022年6月

連結決算ハイライト

売上高 (単位: 百万円)



営業利益又は営業損失(△) (単位: 百万円)



2021年度のセグメント別の経営環境と連結業績についてご説明ください。

鉄鋼事業については、建設向けおよび製造業向けの鋼材需要が底堅く推移し、粗鋼生産量は前期を上回り改善の動きが見られましたが、主原料である鉄スクラップ価格やエネルギー価格の上昇等により、依然として厳しい状況が続きました。このような環境の中、当社グループは、鋼材販売価格の改善を進める等、売上高は88,915百万円（前期比17.5%増）となりました。しかしながら、鉄スクラップやエネルギー、副資材価格等の上昇による増加コストの鋼材販売価格への転嫁が追い付かず、営業損失は625百万円（前期 営業利益1,293百万円）となりました。

自動車・産業機械部品事業について、建設機械業界においては、米国、欧州および東南アジア等で油圧ショベルの需要が拡大しました。また、資源価格の上昇により世界各地の鉱山機械需要も引き続き好調に推移しました。自動車業界においては、半導体等の供給不足による影響により、国内では前年比で減産となりました。このような環境を受けて、当社グ

ループは、建設機械用足回り部品や鉱山機械用超大型ホイールを中心に販売数量が増加したため、売上高は166,542百万円（前期比22.4%増）、営業利益は4,813百万円（前期 営業損失221百万円）となりました。

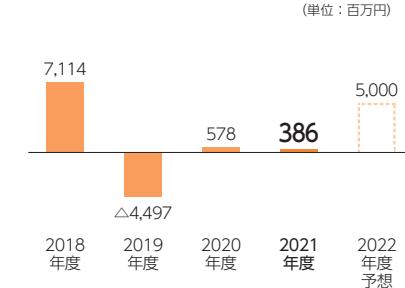
発電事業については、発電燃料である石炭燃料価格の予想外の高騰により厳しい事業環境が続き、安定した電力供給に努めましたが、コスト増加の影響を受け、売上高は9,718百万円（前期比28.2%増）、営業損失は1,957百万円（前期 営業利益165百万円）となりました。

その他の事業は、合成マイカにおいては、海外の化粧品需要に回復が見られたものの、国内の化粧品需要が低調に推移したこと等から、売上高は6,001百万円（前期比4.1%増）、営業利益は1,023百万円（前期 営業損失185百万円）となりました。

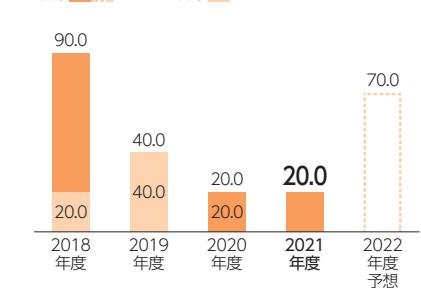
経常利益又は経常損失(△) (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (単位: 百万円)



1株当たり配当金 (単位: 円)



代表取締役社長
高松信彦

新中期経営計画“TOPY Active & Challenge 2025”の概要をお聞かせください。



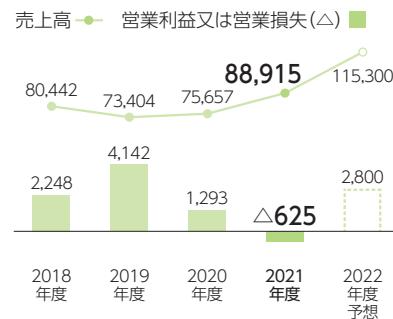
“TOPY Active & Challenge 2025”は、2030年のありたい姿を“新たな価値を創造し、社会課題の解決をリードする企業”と定め、このありたい姿を実現するために、バックキャスト思考で採用した2022年度から2025年度を実行期間とする新中期経営計画です。前中期経営計画で築いた現在の事業基盤をもとに、より一層の収益力強化を図りつつ、次なる成長に向けたイノベーションの追求とカーボンニュートラルへの対応等により、将来の持続可能な社会への貢献とさらなる企業価値の向上を目指します。

<スローガン>
TOPY Active & Challenge 2025
～次を造りつづけよう、トピー100年スピリット～

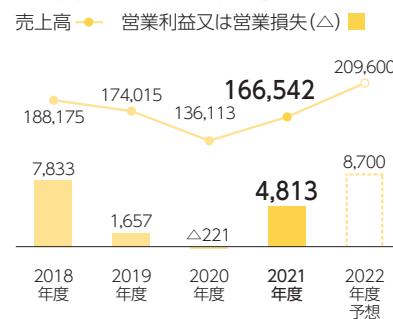


セグメントの業績

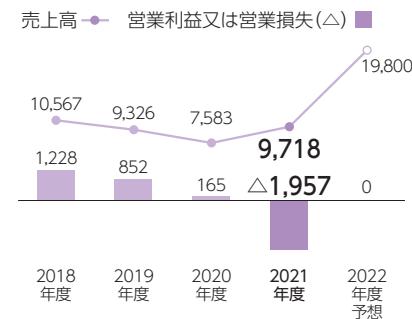
鉄鋼事業 (単位: 百万円)



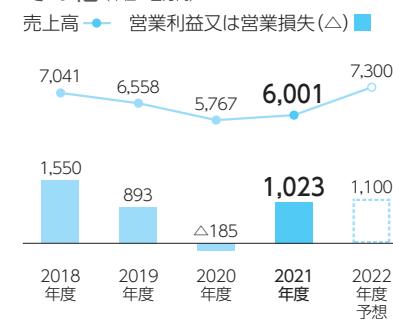
自動車・産業機械部品事業 (単位: 百万円)



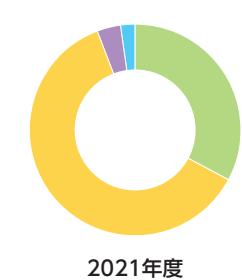
発電事業 (単位: 百万円)



その他 (単位: 百万円)



セグメント別売上高 (単位: 百万円)



セグメント	売上高	割合
鉄鋼事業	88,915	32.79%
自動車・産業機械部品事業	166,542	61.42%
発電事業	9,718	3.58%
その他	6,001	2.21%

財務目標

項目	2025年度目標
売上高営業利益率	4.5%以上
EBITDA	320億円
自己資本利益率 (ROE)	8.0%以上

非財務目標

サステナビリティ基本方針およびマテリアリティ (重要課題) に基づいた取り組みを“TOPY Active & Challenge 2025”の課題と紐づけて、当社グループの強みを生かした新たな価値の創造と社会課題の解決を図るサステナビリティ経営を実践します。

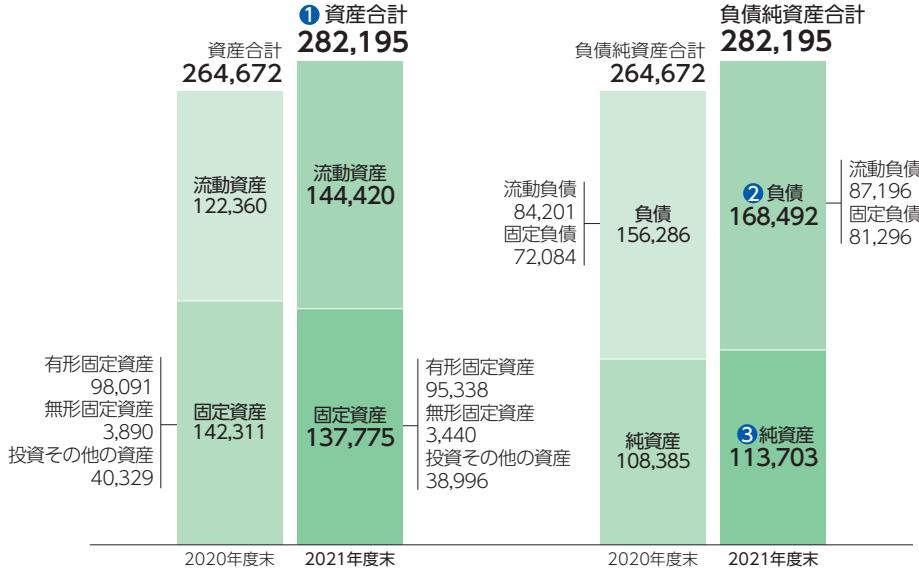
ESG視点	評価指標	数値目標	SDGsへの貢献
環境	CO ₂ 排出量	2013年度比 46%削減を目指す※ (2030年度)	13, 14, 17
社会	女性管理職比率	10%以上 (2030年度)	5, 8, 10
	国内労働災害件数	毎年0件を目指す (休業災害以上)	3, 8
ガバナンス	重大なコンプライアンス違反件数	毎年0件を継続	1, 4, 16

※当社および国内グループ会社のScope 1 & 2が対象。

2022年度の見通し、取り組みについてご説明をお願いします。

今後の世界経済は、経済活動の落ち込みから持ち直しに向かうことが期待されるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念やウクライナ情勢の緊迫等の地政学的リスクの高まり、為替の急激な変動等、先行き不透明な状況が続くと予想されます。また、エネルギーや原材料価格の上昇、半導体等の供給不足による自動車的大幅な生産変動等の影響、世界的な海上コンテナ輸送の需給逼迫等、当社グループを取り巻く事業環境は予想しがたい厳しい状況が継続するものと思われま。このような環境下、当社グループは、2022年度を初年度とする4カ年の中期経営計画“TOPY Active & Challenge 2025”をスタートしました。各事業セグメントにおいて需要動向を注視し継続的なコストダウンに取り組むとともに、高騰した原材料や輸送費等のコストに見合った製品販売価格の形成を進めてまいります。また、前中期経営計画G&C 2021における構造改革での事業基盤強化の効果を生かし収益力向上を図るとともに、当社グループおよび社会のサステナビリティに貢献する取り組みを進め、企業価値をより一層向上させてまいります。連結業績見通しにつきましては、売上高3,520億円、営業利益66億円、経常利益75億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円を見込んでおります。

財政状態 (単位: 百万円)



① 資産

受取手形、売掛金及び契約資産の増加9,436百万円、商品及び製品の増加6,807百万円等により、前年度末に比べ17,523百万円増加し、282,195百万円となりました。

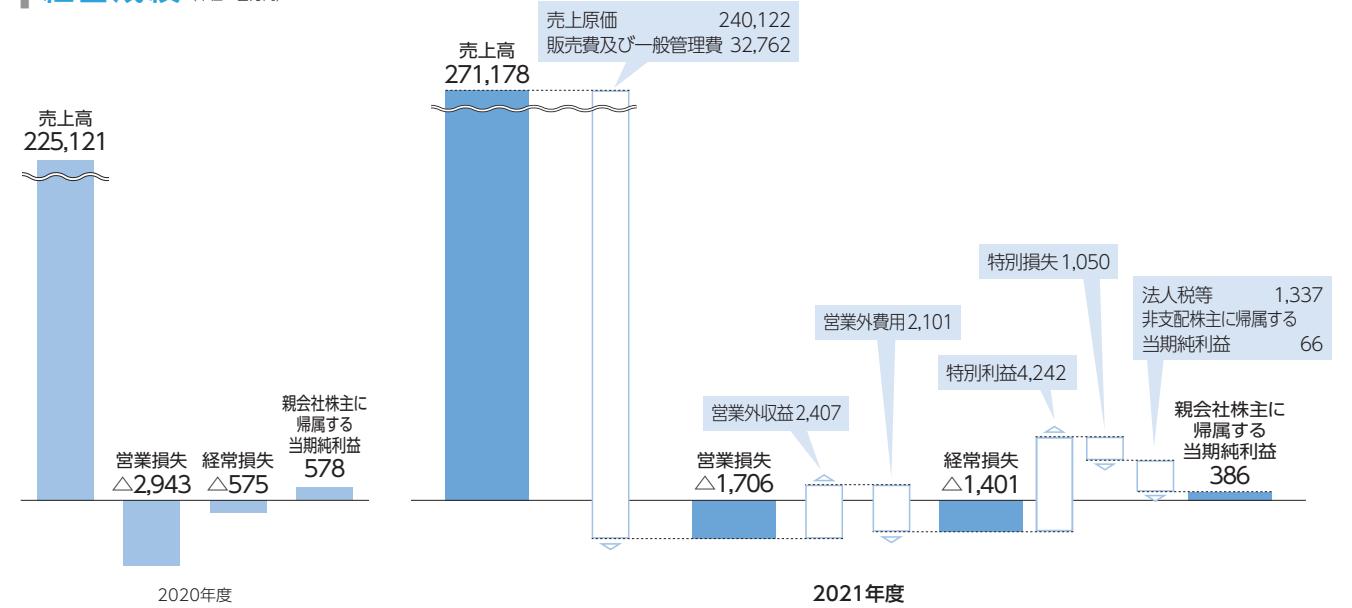
② 負債

支払手形及び買掛金の増加6,722百万円、1年内償還予定の社債を含む社債の増加4,700百万円、電子記録債務の増加2,337百万円等により、前年度末に比べ12,205百万円増加し、168,492百万円となりました。

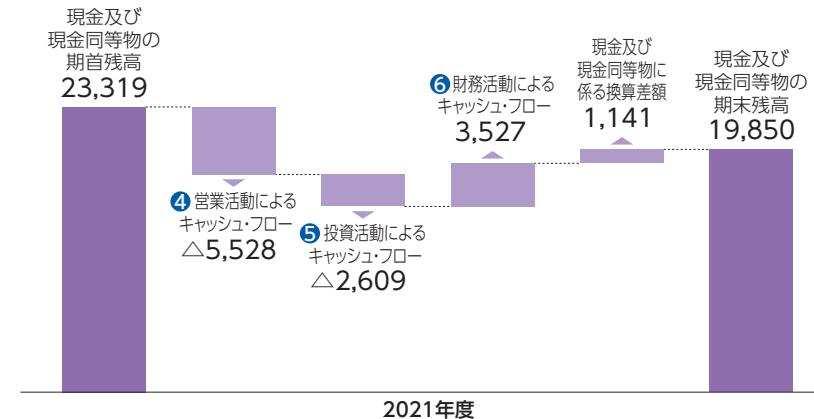
③ 純資産

為替換算調整勘定の増加3,958百万円、退職給付に係る調整累計額969百万円の増加等により、前年度末に比べ5,317百万円増加し、113,703百万円となりました。

経営成績 (単位: 百万円)



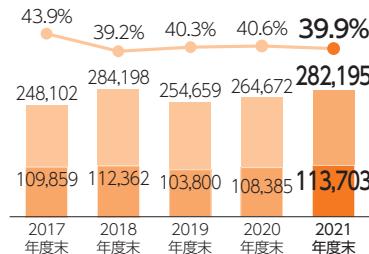
キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



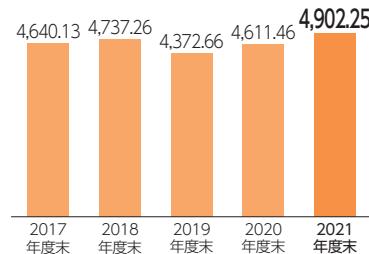
- ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー
棚卸資産の増加13,809百万円、売上債権の増加8,504百万円、減価償却費12,775百万円等により、5,528百万円となりました。
- ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出8,122百万円、投資有価証券の売却による収入5,549百万円等により、2,609百万円となりました。
- ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー
社債の発行による収入9,929百万円、社債の償還による支出5,300百万円等により、3,527百万円となりました。

連結財務指標

総資産・純資産・自己資本比率 (単位: 百万円)



1株当たり純資産 (単位: 円)



1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) (単位: 円)



豊橋製造所 累計粗鋼生産量4,000万トン突破

豊橋製造所での累計粗鋼生産量が2021年12月14日に4,000万トンを突破しました。これは当社の前身である東都製鋼株式会社の豊橋製鋼所（現豊橋製造所）で1958年に初出鋼して以来、64年目での達成となります。

当社グループは長年にわたり「鉄をつくり、鉄をこなす」高い技術力でお客さまのニーズにお応えしてきました。今後も引き続き、競争力の源泉となる技術の開発・強化に注力するとともに、環境に配慮したモノづくりに取り組んでまいります。



サステナビリティ経営の推進

当社はグループ基本理念のもと、さまざまな取り組みを通じて持続可能な社会の実現への貢献や企業価値の向上を目指してきました。2021年7月には、サステナビリティを推進するための情報収集および全社的な意識向上を目的とした「サステナビリティ推進準備プロジェクト」を発足させ、2022年4月1日には、サステナビリティに関するガバナンスの強化およびサステナビリティ経営のより一層の推進を目的にサステナビリティ戦略管掌取締役を委員長とする「サステナビリティ戦略委員会」を新設しました。

また、当社はこれまで、「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言」への賛同 (2021年12月7日)、「パートナーシップ構築宣言」の公表 (12月21日)、「GXリーグ基本構想」への賛同 (2022年3月31日) をするなど、サステナビリティ推進に関する積極的な姿勢を外部に発信してきました。

当社および当社グループは、引き続き事業を通じて継続的な社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現への貢献とグループの中長期的な企業価値の向上を図ります。



Twitter公式アカウントを開設

当社グループのニュースリリースや採用情報などを中心にさまざまな情報を発信するTwitter公式アカウントを開設しました。Twitterアカウントをお持ちの方は、ぜひフォローや投稿のシェアをお願いいたします。Twitterアカウントをお持ちでない方も右記の二次元バーコード、URLよりご覧いただけます。

また当社グループをより多くの方によりよく理解してもらえるよう、100周年記念ウェブサイトに当社グループの製品や社員、製造所のトリビアなどを紹介する動画を新たに40本追加しましたのでぜひご覧ください。



Twitter公式アカウント
@TOPY_INDUSTRIES

https://twitter.com/TOPY_INDUSTRIES



100周年記念ウェブサイト

<https://topy-100th.com/>



社会福祉団体への寄付

当社株式を1,000株以上お持ちの株主様への株主優待は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかを選択していただくことになっております。寄付を選択された株主様に代わりまして、当社から社会福祉団体へフラワープレゼント相当額の寄付を行いました。

株主優待制度の寄付金内訳

	2021年9月末株主様	2022年3月末株主様
寄付選択者数	222名	204名
寄付金額	666,000円	612,000円
寄付先	(公財) 交通遺児育英会	(公財) 交通遺児育英会

株主優待制度の詳細は裏表紙をご覧ください。

商号 トピー工業株式会社
 創立 1921年(大正10年)10月
 資本金 20,983百万円
 従業員数 単体 1,783名 連結 5,897名

主要な事業所

本社 東京都品川区大崎一丁目2番2号
 TEL 03-3493-0777(総務部直通)

支店 名古屋支店 名古屋市中区
 大阪支店 大阪市中央区

生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市
 豊川製造所 愛知県豊川市
 綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市
 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市

研究開発拠点 事業開発戦略センター 愛知県豊橋市

役員 (2022年6月23日現在)

取締役 高松信彦 常務執行役員 青山英樹
 取締役副社長 木嶋伸一 常務執行役員 阿部正裕
 専務取締役 武澤雅吉 執行役員 川野孝徳
 専務取締役 中村毅 執行役員 田中克芳
 常務取締役 立花修一 執行役員 酒井哲也
 取締役 桐山毅 執行役員 七山孝二
 取締役 金子浩子 執行役員 勝山秀雄
 取締役 三上高弘 執行役員 安原優
 執行役員 加納愛仁
 執行役員 川上浩司
 執行役員 高橋正年
 執行役員 竹内浩二

監査役 小川幸弘
 常勤監査役 坂本弘一
 監査役 川岸哲哉
 監査役 酒井明夫

連結子会社 (28社)

■日本
 トピー実業株式会社 明海リサイクルセンター株式会社
 トピー海運株式会社 株式会社三和部品
 トピーファスナー工業株式会社 明海発電株式会社
 株式会社トピーレック リンテックス株式会社
 九州ホイール工業株式会社 西部ホイール株式会社
 株式会社トージツ ATCホールディングス株式会社
 株式会社オートピア 旭テック株式会社

■アメリカ
 トピーアメリカ,INC. アサヒテック ノースアメリカ
 トピープレジジョンMFG.,INC.

■メキシコ
 トピー・エムダブリュ・マニファクチャリング・メキシコS.A. DE C.V.
 トピーファスナー・メキシコS.A. DE C.V.

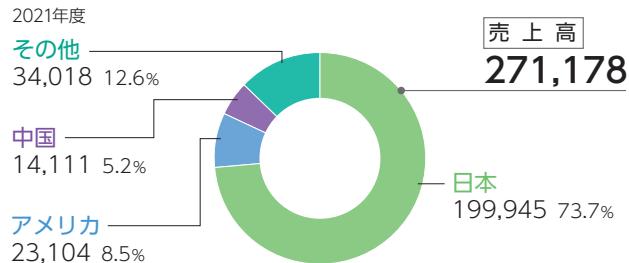
■中国
 福建トピー汽車零件有限公司
 トピー履帯(中国)有限公司
 輪泰科斯(広州)汽車零配件有限公司
 広州旭ドンリンリサーチ&デベロップメント有限公司

■インドネシア
 トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア
 トピー履帯インドネシア

■タイ
 トピーファスナー(タイランド)LTD.
 アサヒテック・アルミニウム・タイランド

■ベトナム
 トピーファスナー・ベトナムCO.,LTD.

地域別の売上高 (単位:百万円)



発行可能株式総数 88,300,000株

発行済株式総数 24,077,510株

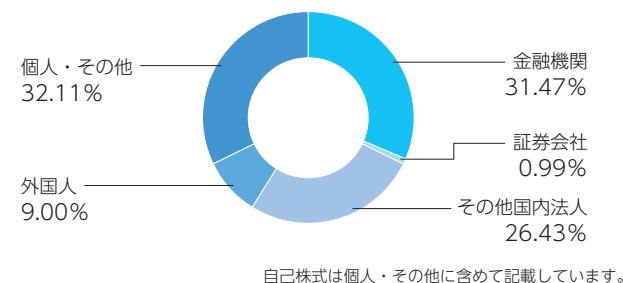
株主数 12,205名

大株主一覧 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本製鉄株式会社	4,818,264	20.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,232,500	9.70
トピーファンド	1,158,110	5.03
明治安田生命保険相互会社	975,134	4.23
株式会社みずほ銀行	787,802	3.42
トピー工業グループ社員持株会	725,031	3.15
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	621,676	2.70
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	428,000	1.86
株式会社りそな銀行	413,605	1.80
損害保険ジャパン株式会社	374,600	1.63

(注) 1. 当社は、自己株式を1,050,785株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. トピーファンドは、当社及び関係会社取引先持株会の名称です。

所有者別株式分布状況



事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 3月31日(定時株主総会・期末配当)
 9月30日(中間配当)

単元株式数 100株

株主名簿管理人 (特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒168-0063
 東京都杉並区泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法 <http://www.topy.co.jp/>
 電子公告により行います。
 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載しています。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

第128回定時株主総会決議ご通知

2022年6月23日開催の当社第128回定時株主総会において、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 1) 第128期(2021年4月1日から2022年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件は、その内容について報告いたしました。
- 2) 第128期(2021年4月1日から2022年3月31日まで) 計算書類報告の件は、その内容について報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案：定款一部変更の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案：取締役8名選任の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案：補欠監査役1名選任の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案：取締役の報酬額改定の件は、原案どおり承認可決されました。
- 第5号議案：当社の株券等の大規模買付行為に関する対応方針(買収防衛策)承認の件は、原案どおり承認可決されました。

以上

表紙写真

2021年9月にアメリカのラスベガスで開催された世界最大級の建機展MINExpo(マインエキスポ)に出展しました。当社ブースでは、製品展示のほか、アメリカの鉱山で実際に12年間使用された63インチの鉱山機械用超大型ホイール(SGOR®)を展示し、大きな注目を集めました。また2020年度より販売を開始した、タイヤ脱着が容易な「Evolution Type SGOR®」が、第18回/2021年“超”モノづくり部品大賞(主催:モノづくり日本会議、日刊工業新聞社)の奨励賞を受賞しました。



株主優待制度のご案内

ご所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険 (最高100万円) 入院特約 (3,000円/日)
300株以上 1,000株未満	交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険 (最高100万円) 入院特約 (3,000円/日) 通院特約 (1,000円/日)
1,000株以上	交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険 (最高100万円) 入院特約 (3,000円/日) 通院特約 (1,000円/日) フラワープレゼントまたは 社会福祉団体への寄付

【交通傷害保険】

当保険は保険期間内に発生した交通事故によるけがが対象になります。疾病は対象になりません。

保険期間 3月末基準日株主様 7月1日～12月31日
9月末基準日株主様 翌年1月1日～6月30日

保険対象者 弊社株主名簿に記録されている個人・法人様
ただし、法人株主様の場合は、社長、頭取、理事長等、
当該法人様組織の長たる方1名

保険内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

株主優待「交通傷害保険」サポート事務局
株式会社トピーエージェンシー
フリーコール:0120-959-766 TEL:03-5436-0212
引受保険幹事会社：損害保険ジャパン株式会社

【フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付】

3月末基準日株主様 6月ごろ
9月末基準日株主様 12月ごろ

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。